

二宮忠八 ちゅうはち 飛行機考案者、歌人。慶應二年六月九日津波誕生。昭和十一年四月八日歿（八六六一九三）。號幡山。明治二十年九編歩兵第十師聯隊に着隊卒として入隊。服務中飛行装置を考案、ガム動力の模造を製作し、二十七年軍令上申を卻下。二十一年除隊、のち大阪製藥會社社長。大正八年飛行機設計の生體者と認められ、歿後帝國飛行協會有功章受章。夙に文藝を好み、七音五字四句一詞の「幡詞」を創始した。

著書「幡詞・第一編」(大正十一年二月二日京都・幡詞會、大阪・柳屋書店發賣)等。

